

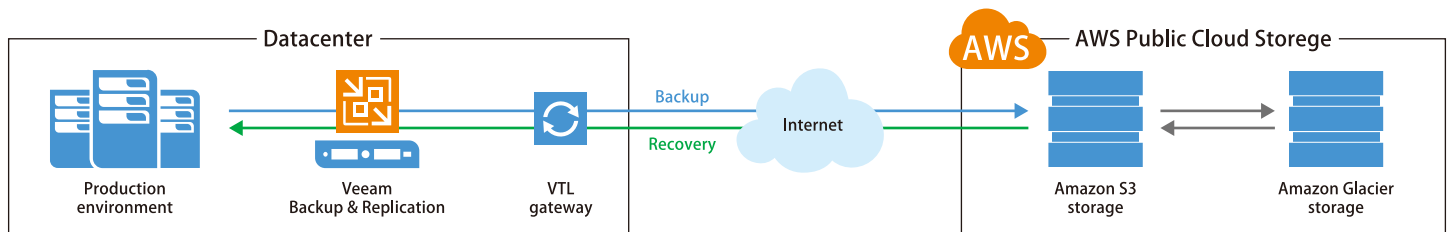
StarWind VTL for AWS and Veeam

テープ機能でコスト効率の良いバックアップ代替えを!



VeeamにおけるVTLオプション

Veeam ユーザはスケーラブルで、コスト率の良いテープの代替選択肢としてAmazon AWS、Microsoft Azureオブジェクト・ストレージ上でVTL (Virtual Tape Library) を使用することができます。VeeamユーザはこれをVeeam Backup & Replicationとで利用でき、現状のバックアップ処理に影響することはありません。Veeamでの統合したVTLソリューションはデータは低遅延のAWSのパブリッククラウドストレージ (Amazon Simple Storage Service: S3) で稼働し、データを長期間保存するためのコスト効率に優れたAmazon Glacier Storageに移行することができるスマートなデステージングが含まれています。VeeamではAmazon、AzureまたはMicrosoft Azureのネイティブな VTLとStarWind VTL to Cloudという2つの選択肢があります。



VeeamとStarWind VTL to Cloud

StarWind Cloud VTL for AWS でVeeamユーザが3-2-1バックアップ・ルールに確実に準拠したバックアップ・インフラと対になったクラウド・ストレージを活用することができます。余分な3rdパーティのソフトをインストールすることなく、コスト効率の高い「コールド」オブジェクトストレージを簡単に統合できます。

キャッシュを仮想テープ・ライブラリとして使用することで、バックアップ・ウィンドウに適応できるようにデータがキャッシュ (SATA HDD) に高速で書き込まれ、インフラストラクチャへの負荷を低減します。

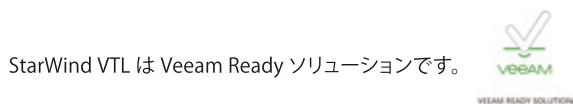
この新しいソリューションは、次のような主な利点をユーザにもたらしめます。

- Disk-to-Disk-to-Cloud (D2D2C) バックアップの実装
- 「Veeam ready」ソリューションのStarWind Cloud VTL
- パフォーマンスと効率の特性が異なるクラウドストレージ間のバックアップを「階層化」できる能力

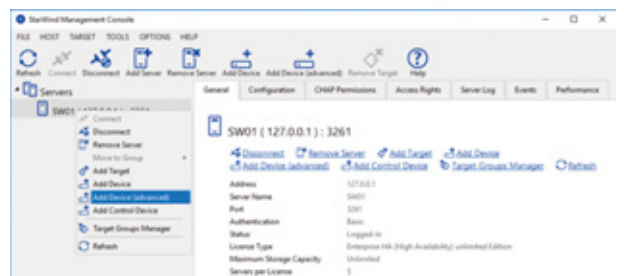
StarWind Virtual Tape Library (VTL) は、低価格なSATAドライブを実テープ・ハードウェアをエミュレートすることで仮想テープに変換し、Amazon GlacierやAmazon S3などのパブリック・クラウド・ストレージにデータをオフロードすることが可能です。

StarWind VTL for AWS and Veeamはバックアップとディザスタリ・リカバリに関してストレージ容量は10TB制限がありますが、クライム・Veeamユーザには無料(取付付き)で提供しています。サポート費は別途有償になります。

※レプリケーション先として、Microsoft Azure Cloud Storageを指定することも可能です。



StarWind VTL は Veeam Ready ソリューションです。



StarWind Cloud VTL for AWS and Veeamの価格等については、貴社担当の営業もしくは、[StarWind Cloud VTL for AWS and Veeam]と記入いただき、以下のフォームまでお問い合わせください。

<https://www.climb.co.jp/soft/veeam/contact>